

令和6年度 事業計画

おかげさまで40年。これからも、あなたとともに。



公益財団法人草津市コミュニティ事業団

はじめに

昭和59年5月、多様化、複雑化していく社会環境やライフスタイルの変化から希薄化が懸念されたコミュニティの課題に向き合い、新たな関係性の構築やコミュニティの醸成に必要となる中間支援組織の必要性を背景に、草津市コミュニティ事業団は産声をあげました。

そして、草津市制70周年となる今年、皆様のおかげをもちまして事業団設立40周年を迎えます。

これまでの間、創設時からの願いや思いを継承し、実践を積み重ね、平成23年4月には、公益財団法人となり、平成26年7月には、草津市協働のまちづくり条例に基づく中間支援組織として市の指定を受けました。市民公益活動団体や地域まちづくり協議会をはじめ様々な関係者と行政との官民連携の結節点として協働のまちづくりを推進しています。

さて、令和6年度は、令和5年度から令和9年度までの中期行動計画として定めた「アクションプラン2023」に基づき、“**確かなコーディネート力と明日へとつながる伴走支援で、協働のまちづくりをリードします**”を組織ビジョンに掲げて様々な事業を展開します。

新たに草津市立市民総合交流センター「キラリエ草津」の指定管理者として共同事業体にも加わり、まさに節目の年となります。草津市民の皆様をはじめ、事業団に関わってくださる全ての皆様に感謝の気持ちを込めて、40周年記念事業を展開するとともに、指定管理者の構成メンバーである草津商工会議所やともに中間支援組織である草津市社会福祉協議会、さらには、市の各機関や入居団体とも連携・協働を進めていきます。急激な物価上昇など目まぐるしい社会情勢の変化も注視しながら、「事業団ブランド」の確立を目指し、草津市の豊かなコミュニティづくりに欠かせない「オンリーワン」の組織として、次に掲げる基本方針のもと、令和6年度の事業計画を定めます。

（１）事業団ならではの専門性とネットワークを活かした“中間支援”を追求します。

草津市では令和3年度から「第6次草津市総合計画」がスタートしています。第1期基本計画でリーディング・プロジェクトのひとつとされた「地域の支え合い推進プロジェクト」に関わり、各地域まちづくり協議会の支援については、引き続き会計・税務・労務等業務の支援を行うとともに、人材育成や地域課題の相談対応等、地域のまちづくりに関わる支援の強化を図ります。

市民公益活動団体等に対しては、世話人として参画していたラウンドテーブルを主催することに加え、指定管理者として、キラリエマツリの企画運営や自主教室を開催するなど、事業団ならではの専門性とネットワークを遺憾なく発揮し、キラリエ草津が、市民の皆さんに愛され、交流や協働の拠点となるよう、取組を発展させていきます。

（２）政策支援型の公益事業を展開し、指定管理施設の社会的価値を高めます。

指定管理施設の運営では、高齢者を含む多世代間交流を図り「健幸都市」を推進するロクハ荘、みどりのサポートセンターを窓口「ガーデンシティくさつ」を推進するロクハ公園、草津市文化振興条例に基づき市民とともに創るスタイルで「13万人の文化プロジェクト」等を実施する文化ホールが、それぞれの施設の特徴を生かしながら市の政策実現を支援する公益事業を展開し、施設の社会的価値を高めます。急激な物価上昇など経営環境の厳しさが増す中であって、様々な社会情勢の変化に機敏に対応しながら、引き続き、安全・安心な施設運営に努めます。

（３）変化を先取りし、常にチャレンジし続ける組織づくりを進めます。

人材マネジメントについては、令和４年１月に草津市が示した「コミュニティ事業団のあり方について」の方針決定を受け、プロパー職員の採用を行うとともに、働き方改革に伴う契約職員等の処遇改善や各種研修、コンピテンシーモデルと言われる職員の行動規範を示した新たな人材育成評価制度等を通じて、職員の人材育成、組織体制の強化を図ります。

複雑多様化する社会の中で、「困ったときは事業団」と気軽に相談していただけるよう、市民によるまちづくり活動を中間支援組織として支えるとともに、市の各種政策を支援できる「オンリーワン」の組織として、これからも、先駆性、挑戦性を大切に、変化を先取りし、常にチャレンジし続ける組織づくりを進めます。

まち活 マッチ



草津市コミュニティ事業団
マスコットキャラクター

事業団のマスコットキャラクター、まち活マッチも生誕１０周年を迎えました。私たち事業団、そして職員の一人ひとりの目指すべき姿をミツバチになぞらえています。ミツバチが花から花へと新しい命を育むように、私たちも人と人をつないで、街の間に笑顔が咲く草津の明るい明日を育みたい。そしてミツバチのように一つひとつの努力、一人ひとりの小さな力を合わせることで、街を動かす大きな活力へと変えていく取り組みをしています。

また、「まち活マッチ」の名前には、市民の善意あるまちづくり活動（まち活）の応援団として、人や街をつなぎ（マッチング）、たくさんの人（much）の笑顔につなげていくという願いを込めています。

事業計画

I 公益目的事業

1. コミュニティ振興およびまちづくりに関する事業

(1) まちづくり振興

ア. まちづくりに関する情報の収集および発信

① まちづくり情報誌「コミュニティくさつ」の発行

市内の特色ある団体や取り組みを紹介するまちづくり情報誌を発行します。年間2回の市域版に加え、希望のあった地域を対象とした地域版も2回発行します。

地域版の作成にあたっては、地域まちづくり協議会と協働で取り組み、地域まちづくり情報の充実と広報力の向上、地域とのつながりづくりに活かします。



② 市民活動団体情報の収集と発信

市内で活動する市民活動団体の基礎情報をHPで発信し、団体の情報発信やパブリシティ活動、ボランティアマッチング、団体同士のネットワーク形成などに活用します。掲載団体に対しては他団体の活動や実務に有益なサポート情報を掲載するニュースレターを届け活動の基盤強化をはかるほか、えふえむ草津の情報番組「KUSATSU FRONT LINE」にも順次出演いただき、広報チャンネルの幅を広げます。

③ コミュニティFMを活用したまちづくり情報の発信

まちづくり活動に取り組む団体の活動PRの機会として、今年度もFM番組「くさつコミュニティTeaTime!」を、えふえむ草津と連携しながら制作、放送します。“市民自らが出演するFM番組”として情報誌や助成事業、地域まち協サポートなどとも関連づけながら、多くのまちづくり団体がタイムリーに出演できるようコーディネートを行います。



④ まちづくり協議会HP運営サポート

地域まちづくり協議会運営の透明性の確保と広報力向上のため、希望する協議会のHP運営サポートを行います。10地域のまち協とHP保守業務契約を締結し、IT系NPOと連携してサイト運営をサポートします。また、希望する協議会に対してはSNS開設やオンライン会議の指導などHP以外でも広報やIT推進の支援も行います。

なお、昨年度の調査で希望のあった地域まち協からは受託契約を締結の上、HP サイトのリニューアルを行い、7 年度から運用を開始します。

イ. まちづくりに関する相談およびコンサルティング等

① 相談・コンサルティング

中間支援の基幹業務として、多様なまちづくり相談に職員が「まちづくりコーディネーター」として対応します。団体運営や事業の進め方に関する助言から、団体間のコーディネートまで幅広い対応を行います。また、それぞれのニーズに応じながら、地域まちづくり計画の策定サポートや人材育成講座、まちづくり講座の実施、事業団の関係施設や大学などと連携した各種サポートも実施します。



地域まちづくり計画の策定など専門性や実務が伴う業務に対しては、有償型支援を基本とし、その収益を職員の中間支援力向上のための人材育成費として活用していきます。

ウ. まちづくりに関する人材育成および研修

① ひととまちの未来をつくるカレッジ

市民活動団体や地域まち協、これから活動を始めようとする市民を対象とした学びの機会を提供します。想いをカタチにしてきた実践者の講演や地域まち協の自慢事業の紹介、大学サークルとのマッチング会など、柔軟かつ多様な形で「学び・気づき・つながりづくり」の機会を創出します。



講演動画の期間限定配信、オンライン型やハイブリッド型による開催など多様な参加形態を確保し、「キラリエサポーター制度」とも連携することで草津の市民活動団体や関心層に広く深く提供します。

エ. まちづくりに関する活動支援および資金助成

① ひとまちキラリ（助成／活動賞）

市民公益活動団体への助成制度である「まちづくり活動助成」と、長年、地域で地道な活動を続けてきた団体に“ありがとう”の気持ちを伝える「イキイキ活動賞」を引き続き実施します。特に助成事業では活動のスタートアップを支援するため、助成だけでなく活動全般に寄り添う伴走支援を行います。併せて実務型研修講座を行い、基本的な実務スキルの習得や団体間の連携を強化します。



また、今年度は「事業団設立 40 周年記念事業」の一環として、「イキイキ活動賞」の授賞団体数を増枠すると共に、これまでのキラリ助成採択団体が一堂に集う「（仮）ひとまちキラリ同窓会」を開催し、当該助成からステップアップした活動の紹介や団体間のさらなるネットワークの構築をサポートします。

② まちづくり協議会 会計・税務・労務等サポート業務

地域まちセンの指定管理者として 2 期目を迎えている地域まちづくり協議会の会計・税務・労務などの日常業務のサポートおよびネットワーク環境のインフラ整備と保守を草津市から受託し、各協議会の適正かつ円滑な事務を支援します。事務書類提出時期や法改正に合わせた研修、個別相談会についても引き続き実施します。

また、今年度が指定管理 2 期目最終年となることから、3 期目に向けた支援のあり方について市とも連携しながら検討します。

③ キラリエサポーター支援業務

今年度よりキラリエ草津の共同指定管理者として、キラリエサポーターの登録・更新事務や付随する業務を新たに行います。草津市が定める基準に基づく事務を行いながら、中間支援組織としてより効果的な支援と伴走を行うことで、キラリエサポーターの活躍機会を提供していきます。

④ 市民交流スペース「協働ひろば」運営管理業務

キラリエ5階のフリースペース「協働ひろば」の運営管理を市から受託して行います。動画を使った情報発信など「情報を得るだけでなく、情報が生まれ発信されるスペース」としての機能や、キラリエサポーターをはじめとする様々な活動団体に、多様な使い方を提案し、団体間の交流



やチャレンジ企画ができる場所として活用されるよう、柔軟に取り組みます。

また、カフェ機能を活かした交流型の敷居が低い小規模講座・体験会などを開催し、市民交流スペースとしての機能も高めます。

⑤ 草津コミュニティ支援センターのサポート

草津駅西口にある草津コミュニティ支援センターの施設管理を行います。公設市民営による中間支援センターとして、登録団体により構成される「草津コミュニティ支援センター運営会」による自主運営をバックアップしながら、運営会や利用団体が安全・安心に利用できるよう施設管理面でのサポートを行います。

⑥ まちづくり機器の貸出

市民公益活動団体や地域まちづくり協議会、町内会等が地域のコミュニティ振興を図るためのイベント等に利用する厨房機器などの「各種まちづくり機器」を貸し出します。また、協働ひろば（キラリエ５階）では、活動の事務作業や情報発信等に必要な各種機材を提供し、活動をサポートします。なお、厨房機器についてはコロナ禍後でイベント飲食の形態が変わりつつあることを鑑み、次年度以降のあり方については貸出の終了も視野に入れて引き続き検討を行います。

オ. その他、各種団体との協働事業の推進

ラウンドテーブルや大学・地域の交流事業の運営サポートを通じて各関係機関、市民公益活動団体等との交流促進と伴走支援を図りながら、「まちづくり×福祉」「学生×地域」「行政×市民公益活動」といった協働モデルの創出に取り組みます。

また、キラリエ草津の指定管理者としてキラリエマツリを活動団体と共に運営し、施設やプロムナードを有効に活用しながらイベントの目的である市民交流・社会参加・協働推進を進めていきます。



2. 高齢者福祉および多世代交流に関する事業

(1) 長寿の郷ロクハ荘

指定管理期間（令和2年度から5年間）の最終年度となります。指定管理提案としてこれまで行ってきた「健幸都市くさつ」をもとに、ロクハ荘を「アクティブ・オープン・プレイス」と位置付け、事業を展開しながらも安心・安全な管理運営に努めます。

① 高齢者の外出の機会の創出

普段の生活で遠出が出来ない方への楽しみや仲間作り等に向けた外出機会を創出します。また、遠方への外出機会として、マッチの会バスツアーを実施します。個人や仲間で、様々な形でロクハ荘の楽しみ方を発見できるよう、多様な連携を進めながら、事業展開を図ります。



来館の主要目的のひとつである温浴施設では、日頃の温浴施設にイベントを加えた月1度のお風呂の日を実施します。また、セラミックボール足湯や手ぶらでお風呂事業・縁日事業などで、再来館したくなるロクハ荘を創出します。

② 高齢者の社会参加の場の提供

福祉避難所であるロクハ荘では、市の防災事業にも参加し、利用者の防災意識の高揚に努めています。また、緊急時 AED 利用救急協力事業所認証を受けており、救急車要請時の対応など、日ごろの安心安全な施設運営にもつなげています。日頃の同好会活動の成果を披露する場として、発表会や展示会を実施し、新規会員の勧誘や、同好会会員のイベント協力などチャレンジ意欲の向上を促し、同好会支援へとつなげます。



③ 仲間づくりの輪を広げる

不要になった古布を裂き、新たな生地、お気に入りの小物へと生まれ変わらせる「思い出の布でさをり織を楽しもう」教室を新たに実施します。仲間と共に楽しく SDGs を学ぶ機会の創出に努めます。

市農林水産課の指導のもと始まった「山田ねずみ大根事業」は4年目に入り、伝統野菜や「あおばな」など地域への普及・周知の聖地（拠点地）として草津市に位置付けられています。



今年度は立命館大学の食マネジメント学部その他、学生サークルの団体、市民サポーターとも連携し、さらなるステップアップを目指します。

④ 多世代の交流が深まる

ロクハ公園の自然や中庭を会場にした「緑葉（ロクハ）あそびクラブ」や「つどいの広場くれよん」と連携した子育て支援イベント、クリスマスやひなまつりイベント等を継続して行います。中でも、自然豊かなロクハ公園実験農場で栽培された野菜を、収穫し、食べるところまで体験したり、公園で剪定や伐採をし、不要になった小枝を使った木工教室をレベルに合わせて複数回開催したり、ロクハの自然を堪能するロクハならではの事業を展開します。また、夏休みの子ども向けイベントでは、立命館大学天文研究会と連携した七夕イベントや身近に化学と親しむ機会として、料理を通じてサイエンスクッキングを開催します。



また、多世代交流イベント「ニコニコがいっぱいキッズドリーム」を40周年記念事業として開催します。

⑤ 自らの健康づくりや介護予防の継続

市の健幸都市宣言に沿った健康づくり事業を展開します。新たな事業としてe-Sportsに着目し、ゲームを通じ楽しみながらフレイル予防・介護予防や脳トレにつながる事業を開催します。



健康なんでも相談では、信頼できる薬剤師によるアフター相談と健康測定を同時に行い、生活習慣を見直す機会を提供します。野菜摂取量測定も実施し、ロクハ荘で開催するJA レーク滋賀による野菜販売「旬菜館」や料理講座を紹介するなど、事業同士の連携をさらに進めます。

3. 環境および公園緑地等に関する事業

(1) ロクハ公園等

令和6年度は、（公財）草津市コミュニティ事業団、草津造園協同組合と（株）サンアメニティ大阪の三者共同による指定管理期間（令和6年度から3年間）の初年度となります。引き続き、「施設を知り抜くプロの連携による「安全」「安心」「快適」の提供」、「みどりのサポートセンター発の地域による地域のための公園づくり」「誰もが健康で幸せに暮らせる健康都市の拠点として地域コミュニティ活動と協働の公園づくり」の3つを重点方針として運営します。

市では、ロクハプールの老朽度調査を受けた対応や今後に向けた検討を令和5年度から進めており、その動きに協力するほか、新規自動販売機の設置や自主事業としてプールサイドの芝生広場でのドッグランの継続の他、工作キットの販売を試行するなど、収益確保の取組を充実します。

① ロクハ公園プール管理運営事業

構成団体である（株）サンアメニティ大阪が持つプール運営事業のノウハウを生かして管理運営を行います。

今年度から使用料金制への移行もあり、室内プールの有効活用を図り、「おちばプール」等を有料で実施するなど収益確保に努めます。また、プールサイドイベントや緑化フェアで好評を得たビッグローラー等で集客を図るとともに、ロクハ荘温浴施設の割引を行うなど、ロクハ荘と連携したオールロクハのサービスを提供します。

令和6年度も引き続き開業期間が7、8月となり25mプールも使用中止となります、雷雨時等の避難誘導も含め、安全、安心、快適に、ロクハ公園プールの管理運営を実施します。



② 公園維持管理事業

ロクハ公園を含む約330以上の市内児童公園では、遊具や外構設備の老朽化や植栽の伸長、新たな公園の追加など、公園管理のニーズは益々大きくなっています。事業団職員による日常点検に加え、専門業者点検により、迅速で適切な維持管理に努めます。

野外ステージでは、「木陰の散歩道コンサート」等の音楽系イベントを近隣の中学・高等学校吹奏楽部の参加を呼び掛けて発展させたり、立命館大学と連携した運動系イベントを継続するほか、緑化フェ



アでは、40周年記念事業として子どもロケット体験教室を開催するなど、多様な連携を進めます。

令和5年度からは、ロクハ公園の植栽や設備を利用した「ヤーンボミング」を実施団体やロクハ荘と共催しており、緑化フェアや冬のロクハ公園を装飾展示していきます。

なお、利用者の利便性向上と業務省力化に向け、インターネット予約システムを導入しており、365日24時間自動サービスを提供しています。

③ 「みどりのサポートセンター」・ボランティア支援・ガーデニング推進事業

「みどりのサポートセンター」では、草津造園協同組合、公園ボランティアとともに「未来に向けた花と緑のまちづくり・ガーデンシティくさつの推進」の活動理念を実現するため、住民による公園管理を総合的にサポートしています。ロクハ公園のメインストリートであるプロムナードを中心に四季折々の装飾を施して、ガーデニングを始める・深めるきっかけづくりとしています。

公園ボランティア活動では、レイカディア大学や一般から公園サポーターを募集し、植栽管理やカブトムシ飼育のボランティアを組織しています。参加者がより満足感を得られるよう、主体的な運営形態への移行に取り組みます。



④ 環境学習事業やロクハ荘との連携事業

環境学習事業では、ロクハ公園の恵まれた自然環境を最大限活用して、ウォッチングシリーズ、ロクハツアーシリーズ、〇〇の日シリーズ、カブトムシ観察会などの人気企画を自主事業として継続します。

ロクハ荘との連携では、立命館大学と連携したロクハ実験農場での活動や、「つどいの広場くれよん」の未就園児や保護者を対象にしたロクハ実験農場での収穫体験、水遊びを行うなど、オールロクハで「健幸都市くさつ」に貢献します。



4. 社会教育および文化・スポーツに関する事業

(1) 文化ホール

令和6年度は、指定管理期間（令和2年度からの5年間）の5年目に入ります。「“あなたらしさ”をプロデュースする文化ホール」を基本理念に、「made in くさつ」の文化、「草津らしさ」「草津スタイル」と呼ばれる、草津の個性となる文化芸術事業を実施します。事業団の強みである地域でのネットワーク力、コーディネート力と舞台芸術プロデュースを有する中間支援機能（草津アートセンター機能）を充実し、草津市文化振興条例、同計画の推進に寄与します。

今年度、アミカホールは、8月から1月にかけて工事が予定され完全休館となりますが、2館一括管理を活かし市民の皆さまにはご不自由のなく、さらに草津市の文化芸術振興をリードする事業展開を図っていきます。

ア. 鑑賞型事業

鑑賞型事業では、劇団四季の公演や劇団四季『心の劇場』（小学6年生を対象にした無料公演）、宝くじ文化公演が定着してきています。こどもたちをはじめ、多くの市民に本物の舞台芸術を鑑賞する機会を提供します。

- ① 『クレア劇場 2024』 劇団四季ファミリーミュージカル
「ガンバの大冒険」公演

- ② 劇団四季 心の劇場 市内小学6年生を招待する
ファミリーミュージカルの無料公演



- ③ 令和6年度宝くじ文化公演事業 『岩崎宏美・良美』コンサート

イ. 普及啓発事業

普及啓発事業では、劇場での本公演を前に、プロの実演家を派遣するなど舞台芸術への関心を深めます。

- ① 狂言ワークショップ ほか （学校アウトリーチ）



ウ. 市民協働事業

① 『草津市芸術祭 2024』

市民合唱祭、市民文化祭、市民音楽祭を統合し、草津市芸術祭として、一般公募団体による実行委員会制で開催します。それぞれの専門性を活かせる舞台仕様（反響板、袖幕、所作台）で開催します。

② 草津市芸術祭関連事業 アート体験ワークショップ（クレア アミカ講座）

デッサン、夏休み親子陶器づくり、書道など、文化団体と連携した講座の開講を開催します。

③ 市民と創るクリスマスコンサートの開催

市内で活躍する音楽団体とスペシャル楽団（公募）で創るコンサートを開催します。

エ. 創造型事業

① クレア舞台芸術学校

草津歌劇団 8 期生（予科生）の募集とオリジナルミュージカルショーの公演を行います。

② 詩と音楽の世界

大中恩の世界をテーマに『草の津』を歌う 市制 70 周年を祝い、スペシャル合唱団を結成します。

③ 事業団設立 40 周年 体験型デジタルアート展&連携事業

マッチと一緒にくさつを冒険『体験型デジタルアート展』
ワクワク子どもの広場スペシャルファミリーコンサート『マッチの大冒険』



オ. 情報発信事業

① 月刊草津アートセンター 情報誌の発行

② えふえむ草津 『月刊 草津アートセンター』 番組製作



カ. 次世代育成事業

① アートスタート事業 （市協働事業）

0歳児から安心して来場でき、親子が間近に音楽を楽しめる機会を提供します。

② クラブ活動支援

市立中学校を対象にブラスバンドコンクール前のホール練習会場を提供します。

キ. アートセンター事業

① プログラム開発

② 舞台芸術相談、プロデュース

③ アーティストマネージメント コーディネート

④ 地域 学校連携 （アウトリーチプログラムほか）



（２）スポーツ振興

事業団が出資する合同会社草津市スポーツ振興事業体の業務執行社員の一員として、スポーツ施設の運営および維持管理を行います。構成団体にコナミスポーツを加えた指定管理の２期目、合同会社として５期目の３年目であり、令和７年度に滋賀県で開催される、国民スポーツ大会、障害者スポーツ大会の成功のための大切な準備期間となります。本年度はリハーサル大会が各競技開催施設において実施され、草津市立民プールの開業も８月に予定されていることから、関係者間で運営協力や事業連携等の協議を進めていきます。

第６期草津市総合計画の基本理念でもある『ひと・まち・ときをつなぐ絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津』の実現、『「する みる 支える 知る」“ALL くさつ”でつなぐ健幸スポーツのまち』を指定管理の基本理念に掲げ、第２期草津市スポーツ推進計画の各種施策の達成に貢献するため、草津市、連携事業者、草津市スポーツ協会等の競技団体や学区体育振興会等の地域団体と協力して取組を進めます。

<指定管理者としての管理施設>

- ① 総合体育館
- ② 弾正公園（草津グリーンスタジアム、
弾正テニスコート、多目的広場）
- ③ 野村運動公園（グラウンド）
- ④ ふれあい体育館・運動場
- ⑤ 武道館
- ⑥ 三ツ池運動公園（芝生グラウンド、テニスコート）
- ⑦ 野村公園 YMIT アリーナ（くさつシティアリーナ）



施設の運営にあたっては、利用者が快適で安全に利用できるよう、また国スポ・障スポ本大開催に向けた施設の維持管理の充実を図るとともに、公平公正に努め、各種サービスの向上に取り組めます。

にぎわい創出事業については、新設されるプールとの連携、コナミスポーツの強みを生かした事業展開、多様な地域資源との連携を進めるとともに、「ライフステージにあわせた健康づくり（子育て世代や働き世代へのアプローチ）」や「健康増進イベントの開催」等についても、関係団体とも協力しながら積極的に開催します。

5. コミュニティ事業団設立40周年記念事業

40年にわたるこれまでの感謝と、事業団を応援して下さるファンのさらなる拡大にむけて、事業団設立40周年記念事業を展開します。

(予定)

4月 7日(日)	道の駅草津21周年感謝祭 コミュニティ事業団模擬店出展、事業団40周年告知活動
4月13日(土)	えふえむ草津開局15周年記念「あの頃青春グラフィティ」公開全国生放送 コミュニティ事業団番組出演、事業団40周年告知活動
5月	(公財)草津市コミュニティ事業団 中間支援パンフレット 「Back-up」(改訂版)発行 草津市町内会長全体説明会 協働のまちづくり映像の上映と草津市内「風景の記憶絵」展
7月	(仮称)「ひとまちキラリ同窓会」in キラリエ草津
7月～8月	40周年記念メイン事業「体験型デジタルアート展」in クレアホール
9月	ロクハ荘多世代交流イベント「ニコニコがいっぱいキッズドリーム」
10月	ロクハ公園「緑化フェア」&子どもロケット体験イベント
9月～12月	保育施設への出張イベント「おでかけマッチ」
3月	40周年記念粋ひとまちキラリ「イキイキ活動賞」表彰
通年	40周年記念マッチグッズ作成

1. 公共施設管理

公共サービスの充実や公益目的事業に付随する事業を行うことにより、住みよいまちづくりに寄与することを目的として公共施設の管理等を行います。

① 道の駅草津駐車場

「道の駅草津」駐車場の管理運営を受託し、ドライバーの安全で快適な運転に要する休憩の場を提供しながら、草津の歴史・文化・名所などの紹介など、県内外から車で訪れる利用者にとって草津の玄関口となる多機能型の施設として、情報発信と地域振興に努めます。

② 長寿の郷ロクハ荘、クレアホール、アミカホール、ロクハ公園等の維持管理

長寿の郷ロクハ荘に設置されている温浴施設をはじめ、クレアホールやアミカホールおよびロクハ公園等の修繕や維持管理を、経費節減に努めながら適正に行います。